

令和2年度東北農業試験研究推進会議 作物生産推進部会 開催要領

東北農業試験研究推進会議作物生産推進部会長
農研機構東北農業研究センター
水田作研究領域長 佐藤百合香

1. 趣 旨

東北農業試験研究推進会議運営要領に基づき、東北地域の作物生産に係わる試験研究の的確かつ円滑な推進を図るため、現場段階での技術的課題等について検討するとともに、当該分野が重点的に取り組むべき研究開発とその推進方策について議論する。

本年度は、重点検討事項として「アフターコロナにおける東北水田農業の展望と今後の技術的課題」をとりあげ、新型コロナウイルス感染拡大による社会、経済への影響をふまえた試験研究の推進方向について検討する。

2. 開催日時

令和3年1月27日（水） 13:15～16:45

3. 開催場所

アイーナ（いわて県民情報交流センター）会議室803
〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号 （電話 019-606-1717）

4. 検討議題

- 1) 検討会・研究会報告
- 2) 「新農業技術・品種2022」候補の選定
- 3) 技術的課題（現場ニーズ）の検討
- 4) 重点検討事項「アフターコロナにおける東北水田農業の展望と今後の技術的課題」
〈講演〉
 - ・東北水田農業の将来像と技術開発の方向－魅力ある水田営農をめざして－
東北大学大学院農学研究科 教授 伊藤 房雄 氏
 - ・~~スマート技術活用によるデータ駆動型生産の概要と課題~~
~~農研機構中央農業研究センター生産体系研究領域 領域長 吉永 悟志 氏~~
(吉永悟志氏の講演は中止となりました)
- 5) 次年度重点検討事項および共同研究課題の提案
- 6) その他

5. 参集範囲

国立研究開発法人および公設試験研究機関、東北農政局、県行政・普及部局、その他部会長が必要と認める者

6. 新型コロナウイルス感染防止対策

新型コロナウイルス感染防止のため、以下の点についてご承知おきください。

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の状況によっては、開催を中止とする場合や、オンライン会議またはメール会議等に開催方法を変更する場合があります。
- ・参加人数は収容人数の概ね50%以下を目安としておりますので、出席者の人数を調整する場合があります。

- ・発熱や咳が続いている方、咽頭痛や倦怠感、嗅覚・味覚障害等の新型コロナウイルス感染症の可能性を疑われる症状がある方、政府から入国制限や入国後の行動制限が必要とされている国・地域等より帰国して14日を経過していない方は、出席をお控えください。
- ・会場の入口にて検温を実施しますので、ご協力をお願いいたします。
- ・出席する方は各自マスクをご持参いただき、会議室内等での着用をお願いいたします。また、咳エチケットをお守りください。
- ・会場入口に消毒液を用意しますので、入退室時の手指の消毒をお願いいたします。
- ・出席者等に新型コロナウイルスの感染者が確認された場合、感染経路や濃厚接触者の調査のため、保健所等の公的機関に参加者名簿を提示する可能性があることをご承知おきください。

7. 事務局・連絡先

農研機構東北農業研究センター水田作研究領域 主任研究員 横上晴郁
(E-mail: dadakuf2@affrc.go.jp、Tel. 0187-66-2773)

※ 資料提出などの詳細については、別途事務連絡いたします。